

第2-3号様式（第4条関係）

特定不妊治療実施報告書

令和3年1月1日から12月31日の間の特定不妊治療の実施に係る情報について、次のとおり報告します。

令和4年 10月 25日

医療機関の名称 竹内レディースクリニック
所在地 始良市東餅田 502-2
代表者氏名 竹内 一浩

1 特定不妊治療の実施の有無（いずれかに○をつける）

| | |
|------------------|---------------------|
| 体外受精 (IVF-ET) | ① 実施した 2 実施しなかった |
| 体外・顕微 (Split) | ① 実施した 2 実施しなかった |
| 顕微授精 (ICSI) | ① 実施した 2 実施しなかった |

※IVF-ET：採卵により得られた全ての卵子に対し、体外受精を実施

Split：採卵により得られた全ての卵子に対し、体外受精と顕微授精に分けて実施

ICSI：採卵により得られた全ての卵子に対し、顕微授精を実施

2 治療開始時点において、35歳以上40歳未満である女性に対して実施した治療の実績

(1) 新鮮胚（卵）を用いた治療成績

| 項目 | IVF-ET | Split | ICSI | 合計 |
|-------------|--------|-------|------|-----|
| 採卵総回数（回） | 3 | 33 | 164 | 200 |
| 移植総回数（回） | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 妊娠数（回）※1 | | | 0 | 0 |
| 生産分娩数（回）※2 | | | | |
| 移植あたり生産率（%） | | | | |

※1 妊娠とは胎嚢が確認された症例をさし、妊娠反応のみ陽性の症例は含まない。

※2 多胎のうち1児でも出産した者は生産分娩とする。

(2) 凍結胚を用いた治療成績

| 項目 | 融解胚子宮内移植 |
|-------------|----------|
| 移植総回数（回） | 220 |
| 妊娠数（回） | 112 |
| 生産分娩数（回） | 83 |
| 移植あたり生産率（%） | 37.7 |

3 来院患者情報

(1) 体外受精・顕微授精・胚移植を行った患者数

| 年齢区分 | 患者数(名) |
|------------|--------|
| 25歳未満 | 4 |
| 25歳以上30歳未満 | 47 |
| 30歳以上35歳未満 | 123 |
| 35歳以上40歳未満 | 202 |
| 40歳以上43歳未満 | 105 |
| 43歳以上 | 81 |

(2) 精巣内精子採取術(男性不妊治療)を行った患者数

| 年齢区分 | 患者数(名) |
|------------|--------|
| 20歳未満 | 0 |
| 20歳以上30歳未満 | 1 |
| 30歳以上40歳未満 | 3 |
| 40歳以上50歳未満 | 0 |
| 50歳以上 | 0 |

4 治療指針について

施設における統一された治療指針がありましたら記載してください。

(例：治療のステップアップ・ステップダウンに関する考え方，年齢に応じた治療の選択，調節卵巣刺激法(自然周期・低刺激，高刺激等)の選択，等)

当院では、個々の患者の卵巣機能や背景を加味しつつ、その患者に適した治療を行うことを治療指針としている。基本的に、初期胚よりも胚盤胞移植の方が、また新鮮胚移植よりも凍結融解胚移植の方が妊娠率は高いことが分かっている。

そのため、可能な限り胚盤胞で凍結、凍結融解胚移植を行うという妊娠率の高い不妊治療を勧めているが、良好な胚を得るのに苦慮する症例(高齢・卵巣機能低下など)や凍結での影響を受けやすい場合は、別の卵巣刺激法や初期胚での凍結、新鮮周期での胚移植も行っている。

また、良好な胚盤胞を移植しているにも関わらず、妊娠が成立しない又は流産するといった症例では、受精卵の着床前診断も考慮に入れたカウンセリングも行っており、更に反復着床不全例を対象とした自己多血小板血漿(PRP)療法の再生医療も手掛けている。